

「私を変える祈り₂」

2024.5.8

祈りのシリーズ②

ルカの福音書 10:38~11:4

私たちが父なる神様に祈るとき、どんな祈りをしているのでしょうか。イエス様は、父なる神様に「父よ！」と祈った後直ぐ「御名が聖なるものとされますように」と祈るように言われました。しかし私たちは、「御名が聖なるものとされよう」と神さまを褒め讃える言葉が出るより、いつもこの世の事を先に口に出して祈っているのではないかと思います。それを知っておられるイエス様はあえて「御名が聖なるものとされますように」と祈ること教えられました。

今日の聖書の学びの要点

- ・ 神様をあがめ、褒めたたえるとき、私たちの心は感謝に変えられ、たとえ、状況は変わらなくとも喜びが与えられます。

I、祈りをさまたげるもの

(ルカ 10:38~42)

1、「主の祈り」を弟子たちに教えられる少し前、イエス様一行はベタニヤに立ち寄られました。2人の姉妹の事柄を見ましょう。

① イエス様一行を喜んで迎えたマルタですが、大勢の客のもてなしのため、どのような心になっていたのでしょうか。(ルカ 10:40)

・ この時の、マルタの心を占領して、縛っていたものは何だと思いますか。

・ 妹に対しては、どう思っていたと思いますか。

② 一方、妹のマリヤの心はどうでしたか。(ルカ 10:39)

2、妹に意見して下さいと願ったマルタに、イエス様は良いほうはマリヤだと言っておられますが、どうしてでしょうか。

(ルカ 10:42)

① この世の煩い → 「祈りに答えてくださるだろうか」と疑念が生まれる

②神様が見えなくなる →不信仰に陥る

・石ころを目に近づけたら簡単に、あの太陽でさえ隠れて見えなくなる

③マタイ 6:31～34 を読みましょう。

Ⅱ、神をたたえる大切さ

1、イエス様は「父よ」に続いて直ぐ「御名が聖なるものとされますように」と祈れと言われました。その理由を考えてみましょう。

①「御名」＝神ご自身を現す。イスラエルの人たちは、名は体を表すと考える。十戒にもある。

「御名」と言うときには神御自身を表すと考えていた。

②「聖なるものとする」「あがめる」＝ 神様をほめたたえること

③神をほめたたえることによって、与えられる恵み

- ・私たちの霊に平安が与えられる。
- ・感謝と賛美が与えられる。
- ・感謝できない時、神の御名をあがめるなら。私たちの心は変えられる。
- ・私たちの心に勝利がもたらされる。

2、イエス様ご自身が、苦しみのときはどうでしたか。

※ ヨハネ 12:28 を見ましょう。

十字架に掛けられる前に「父よ。御名の栄光を現わしてください。」

口語訳では「父よ、み名があがめられますように」と祈られた。

3、イエス様が「こう祈りなさい」と言われた意味は何でしょうか。

※何回も繰り返して祈りなさいという意味がある。